

## 【超短】メルヴァモン、天野ネネ、フェアリモン痴漢蟹股墮ち

デジタルワールドを移動していたネネとメルヴァモン、そしてフェアリモン。今度のゾーンは電車での長距離移動が必要らしく、三人そろって吊革に掴まっていたが……

「っ！」

「ッ……！」

「！」

——意図的に身体へ触れる存在。痴漢……それに気づき、メルヴァモンとフェアリモンは即座に捻じ伏せようとするが——

(?! ネネの首に刃物が……!)

(これじゃあ、手が出せない……!)

主であるネネを人質にとられ、メルヴァモン、フェアリモンは手が出せなくなってしまう。  
ただの人間であるネネ自身に、対抗の術があるはずなく……

——……

—————

「はっ♡ あ♡ あ♡ あっ♡」

「く……ッ♡ このッ! 調子に乗るな……んううッ♡♡」

「いやっ♡ あ♡ あああっ♡」

あまりに単純な手で無抵抗を強いられ、痴漢行為を続けられる二人。  
痴漢のデータハックにより身体が強制発情し、単純な愛撫にも反応させられてしまう。  
ネネはマイクロミニのスカート内で 桃色のパンツ越しに陰部と尻を  
メルヴァモンはホットパンツが食い込むモリマンと爆尻を  
フェアリモンは下着同然の姿で形が剥き出しになった美尻を  
それぞれ撫で回され、揉みくちやにされ、すぐさま牝の本能が呼び覚まされていく。

(ウソっ♡ こんなに♡ 気持ちいい、なんて……♡ ダメ♡ 脚が……勝手に……♡)

(こんなザコ……本来なら一撃で……くううっ♡ こいつ、上手過ぎるッ♡♡)

(ホントなら今すぐ蹴り飛ばすのに……♡ お尻っ♡ 気持ちよくなっちゃう♡)

快楽で下半身が自然と動き、吊革と手すりに掴まったまま、膝が開いて蟹股になる。  
デジタルワールドでは名を馳せた三人。数々の大戦を勝ち上がってきたのだが  
格下の、たかが痴漢相手に、あまりにも恥知らずな格好にさせられる。

「ダメ♡ ダ……メ……♡ ……………あ…………っ♡♡」

「くふッ♡ ん♡ やめッ♡ やめろ……………ッお♡♡」

「いや……♡ もう……触らないでええ……♡ いやあああああっ♡♡」

そして三人揃って絶頂。

ピクンっ♡と痙攣し、痴漢屈服した尻を蟹股で突き出す体勢になる。あまりに隙だらけの牝に、痴漢は更なる責めを試みる。

「ま、まさかっ♡」

「やめろお前らッ♡ それだけは……♡」

「ダメえっ♡ 許してえええっ♡」

ずぶんっ♡

「「「おおおおおおおおおおお!!!♡♡♡」」」

——挿入。あろうことか見ず知らずの相手に挿入されたのだ。

「そっ♡ そんな♡♡」

「こ……こんなことがあッ♡♡」

「う……ウソでしょおっ♡♡」

普段の大戦では有り得ない……常識的にも信じられない事態。それでも抵抗できるわけがなく、三人は痴漢凌辱を受け続ける……

……………

……………

「はっ♡ はっ♡ はっ♡ んはっ♡♡」

「くッ♡ ふッ♡ ふッ♡ んんうッ♡♡」

「あ♡ あん♡ いやっ♡ あっはあっ♡♡」

(ダメ♡ せめて、脚を閉じないと……ああっ♡ 気持ち良すぎて♡ 脚っ開いちゃうっ♡ 恥ずかしい蟹股で♡ 腰っ振っちゃう♡♡)

(こんなヤツ相手に♡ 股を開くなど♡ くそおッ♡ 気持ち良すぎるッ♡♡ 惨めな姿で♡ 腰っ媚びるううッ♡♡)

(お尻っ♥ こんなに気持ち良いなんてっ♥ 技みたいに……うん、技よりもエッチに♥ お尻つぶるんってしちゃう♥♥)

悔しさ、無様さに比例して被虐快樂が増していく。

そして痴漢の肉幹が更に激しく動き——

「ああん♥♥ まさか♥♥ 中に♥♥ そ♥♥ それだけはああ♥♥」

「やめろッ♥♥ 中だけはッ♥♥ やめろ……やめろおおおおおおッ♥♥」

「いやあぁっ♥♥ もう許してええええっ♥♥」

ドブッ♥♥ ドビュッ♥♥ ドビュルルルッ♥♥

「「んおおおおおおおおおおおお！！♥♥♥♥」」

三人は種漬け快樂で失神しながらも、これ以上なく腰を強く震わせるのだった——

◆  
再び電車に乗る三人。電車はあの痴漢たちが出現したのと同じ車両であり……  
早速 痴漢に囲まれる。

三人は逃げ隠れもせず、むしろ痴漢に対して挑発的な視線を見せた後、尻を突き出すポーズをとる。

ネネは突き出したことで捲れたマイクロミニから覗くピンクのハイレグパンツ尻を、

メルヴェアモンは更に食い込みを増したホットパンツの爆尻を、

フェアリモンは艶と腰つきに磨きがかかった玉肌の美尻を、

それぞれ強調して言い放つ。

「か……かかっけきなさい、痴漢たちっ♥ あなたたちの気持ち良すぎる痴漢なんか……♥ 私は負けないわ……♥♥」

「そうだッ♥ 気持ち良すぎる痴漢如きにッ♥ 蟹股になって……腰を振ったり、しないからな……ッ♥♥」

「いくら痴漢が気持ち良すぎるからって……♥ もうわたしたちのお尻は……♥ 痴漢なんか……に負けたりしない……っ♥♥」

……

……

体験版はここまでです。続きは製品版で！